

★ こんげつ ほし 今月の星もよう ★

※星図はステラナビゲーター11
を用いて作成

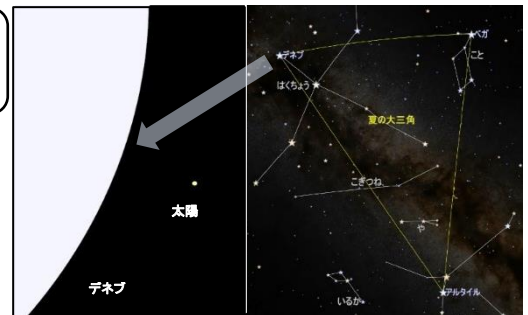
9月中旬の夜8時頃、南の空高くに「はくちょう座」のデネブと「こと座」のベガ、「わし座」のアルタイルの3つの1等星が形づくる《夏の大きな三角》を見ることができます。このうち「はくちょう座」は、天の川の上で大きく翼を広げ、北から南に向けて飛んでいる鳥の姿をした星座で、尾の部分で輝く1等星デネブと、くちばしの部分で輝く3等星アルビレオが良く目立ち見つけやすいため、古くから南の方角を知るための目印となっていました。ギリシャ神話には、大神ゼウスが変身した姿や、川に落ちた友の死を悲しみ白鳥に姿を変えたキュクノスの姿など、「はくちょう座」の由来と言われる話がいくつか伝わっています。「はくちょう座」は、星の並びがきれいな十字形になっていることから、南十字座の南十字（サザンクロス）に対し、北十字（ノーザンクロス）とも呼ばれています。日本でも、一部の地域で、十字形に着目した「十文字様」や「十文字星」という和名があったそうです。



★ はくちょう座 α 星「デネブ」

星の名	デネブ
星座	はくちょう
明るさ	1.2等級
距離	1,400光年以上

はくちょう座のα星の「デネブ」の名前は、アラビア語で「尾」を意味します。ともに夏の大きな三角を形づくる、こと座の「ベガ」と、わし座の「アルタイル」と比べると、ほぼ同じ明るさに見えますが、直径が太陽の約2倍のベガとアルタイルに対し、デネブは約200倍。質量もベガが太陽の約3倍、アルタイルが約2倍に対し、デネブは約20倍。明るさに至っては、ベガが太陽の約30倍、アルタイルが約10倍に対し、デネブは何と約5~6万倍もあります。なぜ、ベガやアルタイルに比べ、質量や直径、明るさがこれほど大きいのに、見かけの明るさがほぼ同じなのかというと、地球からの距離が、ベガの約25光年、アルタイルの約17光年に対し、デネブは推定で約1,400光年以上と、全天の1等星の中で最も遠くにあるからです（明るさは距離の2乗に反比例するため）。距離が推定なのは、デネブが遠すぎるため、距離の測定自体が困難だからです。因みに、デネブはその光のスペクトルと大きさから「白色超巨星」に分類されますが、このような恒星は、膨大な量のエネルギーを放出しているため寿命が短いと考えられています。



★ もくせい せきん 月が木星に接近!

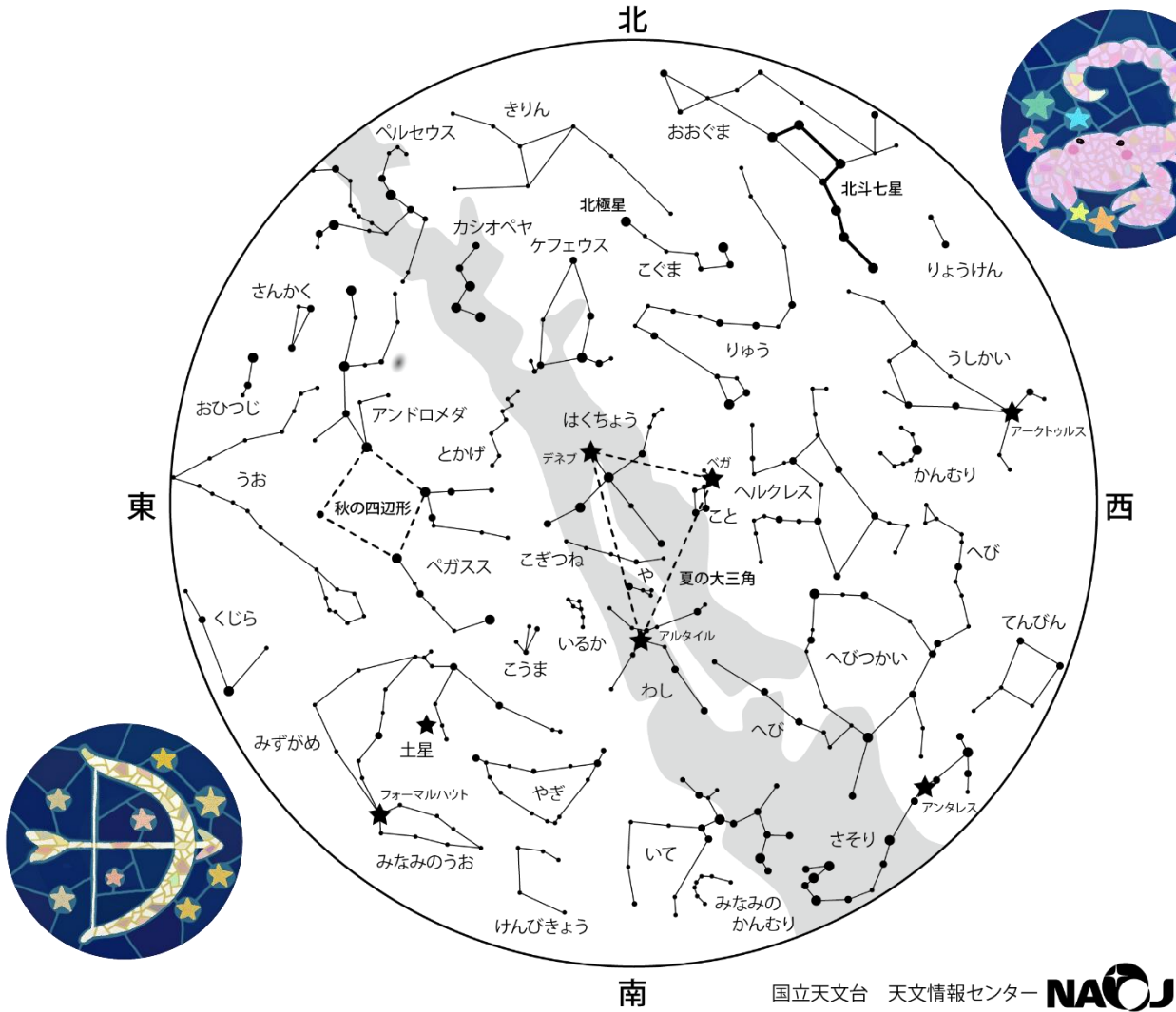
9月上旬頃、木星は、明るい星が少ない秋の星座の領域にあって、とてもよく目立っています。その木星に、9月3日から5日にかけての深夜、月が近づいていきます。9月4日には、半月よりも少しふくらんだ下弦の月が木星の近くに見えています。そして、月と木星は時間とともに南へと移動していき、5日の夜明け前の空では、南の空の高い位置に見えます。空がまだ暗いうちに早起きして、星空を観察してみてください。いかがでしょう。



★ 9月のプラネタリウムの内容については、別刷りの「投影案内」をご覧ください ☆☆

★ プラネタリウムのお休み 9/4(月)、11(月)、19(火)、20(水)、25(月)、26(火)

9月上旬午後8時30分頃の星空



★ 9月上旬の主な天文現象

1日 (金) <small>にしむらすいせい</small> 西村彗星が <small>せいだん</small> プレゼベ星団に接近	8日 (金) <small>はくろ</small> 白露
5日 (火) 月が <small>もくせい</small> 木星に接近、 <small>すいせい</small> 水星が <small>ないごう</small> 内合	9日 (土) <small>きんせい</small> 金星・ <small>エム</small> ジュノー・M67 が接近
6日 (水) 月が <small>プレアデス</small> プレアデス星団に接近	15日 (金) ● <small>しんげつ</small> 新月
7日 (木) ☾ <small>かげん</small> 下弦	

★ 宇宙ステーション(豊川での主なデータ 9/1~15) ※下記時刻は、予想値です

◇ 9月 9日 (土) [見やすさ ◎]	4:52 北西 ~ 4:59 南東
◇ 9月12日 (火) [見やすさ ◎]	19:06 南南西 ~ 19:10 東南東
◇ 9月13日 (水) [見やすさ ◎]	19:54 西南西 ~ 19:57 北北西
◇ 9月14日 (木) [見やすさ ◎]	19:05 南西 ~ 19:11 北東

豆知識：国際宇宙ステーション (ISS) は、明るい星が動いているように見えます。飛行機のような赤緑ランプの点滅はありません。